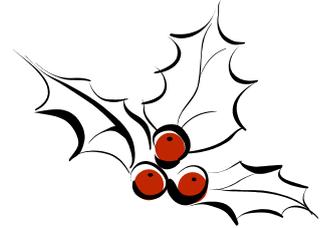


## 教育相談のお知らせ

記

師走をむかえ、なにかと気ぜわしい毎日となってまいりました。さて、以前お知らせ致しましたように、本校ではスクールカウンセラーとして臨床心理士の中筋裕子さんをお迎えして教育相談を実施しています。1月7日から3月26日までの教育相談実施日を下記の通りご案内いたします。

記



### 1. 日 時

なかすじ ゆうこ

#### スクールカウンセラー 中筋 裕子さんの来校日

1 月 :	8 日 (火)	15 日 (火)	22 日 (火)	29 日 (火)
2 月 :	5 日 (火)	12 日 (火)	19 日 (月)	26 日 (火)
3 月 :	5 日 (月)	26 日 (火)		

10:20 ~12:10 (授業中)……保護者からのご相談

12:15 ~12:55 (昼休み)……生徒本人、又は保護者からのご相談

13:30 ~15:20 (授業中)……保護者からのご相談

15:30~16:10 (放課後)……生徒本人、又は保護者からのご相談

※ 原則として1回の面談時間は、授業中は50分、昼休み・放課後は40分とします。

### 2. 場 所 生徒相談室 (本館1階)

(生徒相談室前の階段下左手に待合場所があります)

### 3. 相談申し込み方法

ア) 保護者の方 事前に必ず電話で下記までお問い合わせ下さい。

TEL 06-6303-5661 大阪府北野高校 保健室

イ) 生 徒 (次のうちいずれかで)

- 直接相談室へ行って、中筋さんに話す。
- 保健室前の相談予約カードに記入し、予約カード用ポストに入れる。
- 保健室の先生を通じて申し込む。

## スクールカウンセラー 中筋裕子さんより

こんにちは。観測史上初の夏日から始まった12月ですが、今年は本当に異常な気候が続きました。地球上には様々な国がありますが、日本のように四季がある国というのは少数派。四季の影響で、日本人は季節の様々な変化に敏感な繊細な感受性を持った国民性になったとも言えるでしょう。しかしそれも徐々に変わっていくのかもしれないですね。近年の破天荒な天候には、国民性さえ変えてしまうような力が潜んでいるように感じられます。



さて今年度は、「集団と個人」というテーマで様々なトピックスを取り上げてきました。最終回は、「リーダーシップ」についてお話したいと思います。

リーダーシップとは、簡単に言うと、リーダーがメンバーに対して発揮する影響力のことです。様々な研究から、効果的なリーダーシップとはどんなものか…ということが指摘されています。

皆さんは、グループの中で何か目標をもって活動する時、リーダーシップを取る立場になりやすいでしょうか？リーダーに協力して活動するメンバーの立場に立ちやすいでしょうか？「自分はリーダーに向いていない」と敬遠している人もいるかもしれません。巷では、リーダーになるには、カリスマ性とか人間的魅力…と言った、素質のようなものが期待されがちです。しかし実際、リーダーとは生まれながらの素質がなければならぬものなのでしょうか？

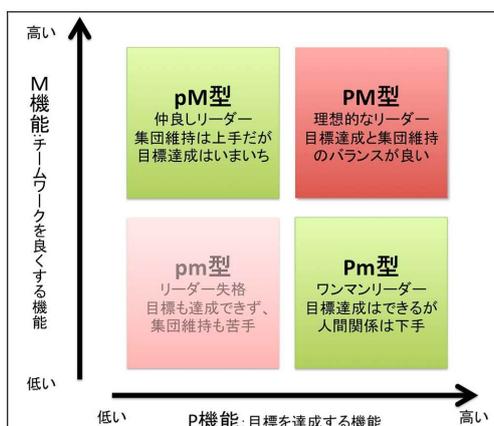
高校生活の中でも、小グループでの活動、クラス・クラブ活動、学年をまとめる活動…色々な規模でリーダーシップを取る機会があると思います。リーダーとしてグループをまとめるには、どのようなことが必要なのかを知っておいて損はありません。これまでも、集団の持つ独特の力について、いくつかの角度から話をしてきましたね。集団というのは、一人一人の人間を単に合わせた総和ではなく、独自の色や力を持つ存在です。集団の特性を理解し、そこでどのような振舞いが必要なのかということを理解することで、「生まれながらのリーダータイプ」などでなくとも、リーダーシップを発揮することはできるものです。

PM理論というものがあります。これは、効果的なリーダーシップには「P機能（目標を達成する機能）」と「M機能（チームワークをよくする機能）」をほどよく合わせた機能が必要だとする理論です。

P機能：課題を達成させるために目標を共有し、メンバーを励ましたり、厳しく指導する…という機能

M機能：チーム結束力を高め、関係を良くするために、一人一人を観察したり話を聞いたりして、まとめていく…という機能

P機能とM機能の強さの組み合わせで、下のグラフのように、リーダーシップの特徴が出てきます。



PM型リーダーのグループ：

長期的に良い結果を出し続けることができる

Pm型リーダーのグループ：

厳しさが先行。結果は出せるが、息切れしがち

pM型リーダーのグループ：

大きな成功は納めににくいが長期的な結束力がある

pm型リーダーのグループ：

グループはまとまらないし目標も達成しにくい



元々の性格もあるでしょうけれども、リーダーとして動く必要がある時は、こういった機能を意識して振舞うことで、やりやすくなることでしょう。また、自分がPは得意だけどMは苦手…という場合、M機能が得意そうなメンバーにサブリーダーになってもらい、足りない部分を補ってもらおう…といった工夫をすることで、PM型に近いものになっていくと言われています。

私たちは、皆何らかの集団に属して生活していることがほとんどです。「個人の要素×集団の要素」で起こってくる様々な現象に、これからも興味を持ってもらえたらなと思います。